

時代区分Ⅳ (1)-②尖閣諸島が米軍の施政下に置かれていることが分かる資料

琉球列島(八重山)の中に尖閣諸島が含まれていることがわかる資料

No.49 八重山民政府概況書

新規掲載 1948年(昭和23年)

資料概要

八重山民政府が作成した管下の情報をまとめた資料で、八重山群島の面積等を記載した欄に尖閣諸島を記載している。戦時中から沖縄返還まで一貫して尖閣諸島が琉球列島(八重山)の中に含まれていることの一端がわかる。

前半にある手書きの和文は、1947年末から1948年時の作成、後半の英文タイプは1947年時の作成。表題はそれぞれ「八重山民政府の行政大要」「A SUMMARY OF THE YAEYAMA PROVISIONAL GOVERNMENT」となっている。

※終戦後の沖縄における軍政の動き

終戦後 米軍(連合軍)は、占領下においた地域に、以下のように地区を設定し軍政を開始した。

- 北部地区:奄美諸島
- 中央地区:沖縄本島及び周辺離島
- 南部地区:宮古・八重山諸島

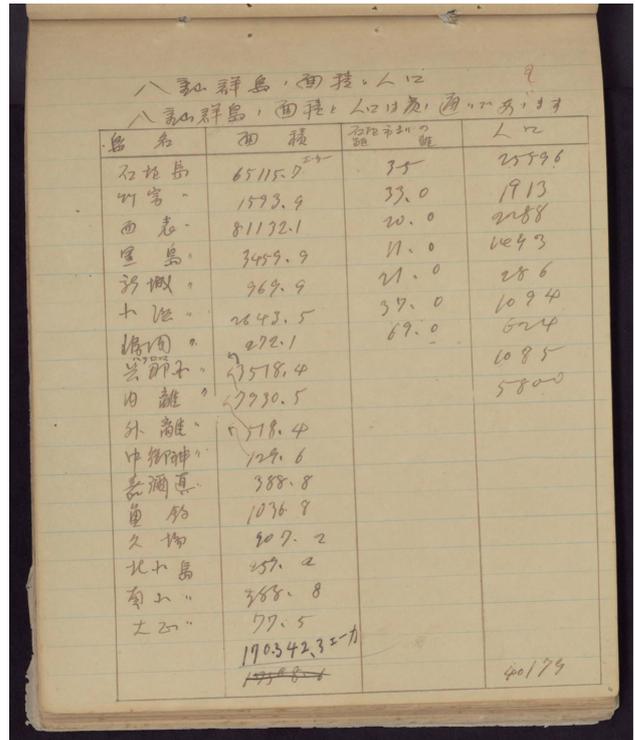
1946年 南部地区が宮古地区、八重山地区に分割され、それぞれ宮古軍政府、八重山軍政府が設置された。

1947年 八重山軍政府指示のもと、地元住民によって、八重山地区に八重山民政府が組織された。

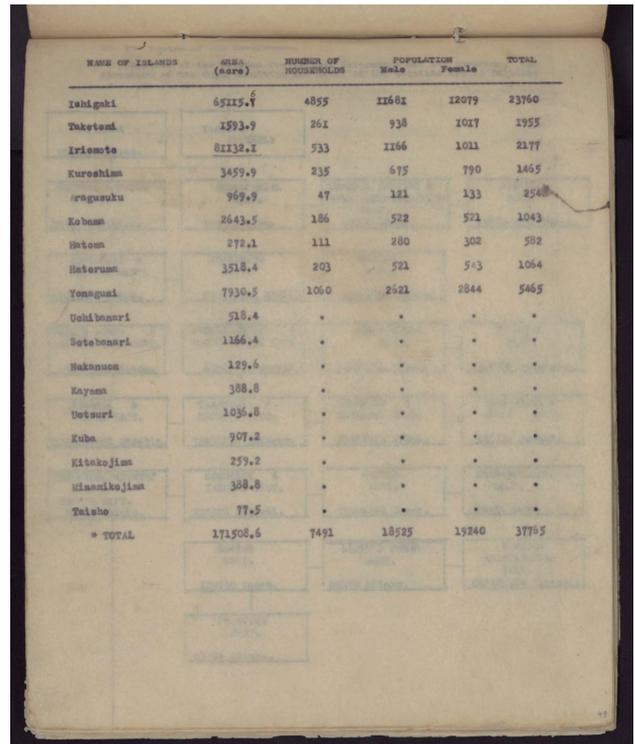
内容見本

(市町村名)石垣市
(区域)石垣島ノ西部及尖閣列島

作成年月日	1948年(昭和23年)
編著者	八重山民政府総務部総務地方課
発行者	八重山民政府総務部総務地方課
収録誌	八重山民政府概況書 1947年度
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	有
所蔵機関	沖縄県公文書館
利用方法	沖縄県公文書館で利用手続きを行う



所蔵:沖縄県公文書館



所蔵:沖縄県公文書館